

講演会

# 環境病をいやす

# 奥会津の実践

環境病という聞き慣れない病。

化学物質や電磁波など目に見えないが生活環境に充満しているモノが原因だとされる奇病によって体調を崩し、仕事を続けられなくなったのが9年前の秋だった。

病院の検査結果は「化学物質過敏症と電磁波過敏症」。

「この病気は病院では治せません。きれいな空気や水、日本伝統の食事、そして運動で身体に溜まった有害物質を排毒（デトックス）するしかありません」という、耳を疑う医師の言葉に、大きなショックを受けた。

生活習慣や環境、人生の価値観を180度変えるために2年かかった。

同じ病気で悩み苦しむ仲間達と連携して、きれいな空気と水が確保できる療養生活環境を全国に求め、幾つか候補が挙がった中からこの南会津町に移住を決めた。ただ、自分だけ逃避するのではなく、次々と原因不明の病に倒れる人々のために、「オアシス」「緑のダム」を確保すべく、自治体と協働しながら、中山間地域の活性化を目指す新たな環境ビジネスの一環としての「Iターン定住」である。

（池谷氏の講演主旨・概要より抜粋）

南会津町あらかい健康キャンプ村、滞在棟「すこやかハウス」。この電気もガスもない6畳ほどの小屋で、環境病の方たちが寝起きしてカラダを治している。



## 講演会 環境病をいやす 奥会津の実践

講師 池谷純仁氏

とき 2013年1月27日(日) 13:30~15:00

ところ 朝日地区センター

池谷純仁 いけや・すみひと

1965年1月、横浜生まれ。2004年、化学物質過敏症と電磁波過敏症（環境病）を発症後、都会生活ができなくなり、2007年より福島県南会津町へ移住し、廃校を町から借りて環境病の転地療養施設「南会津町あらかい健康キャンプ村」を開設する。持続可能な地域再生を目的とした21世紀型モデルコミュニティ「エコヴィレッジ会津高原構想」の実現に向けて事業推進中。現在、南会津町あらかい健康キャンプ村指定管理者ならびに南会津口ハスな家とまちづくり協議会事務局長。

[主催]  
只見の自然に学ぶ会

<http://www.fukosya.com/manabu.htm>

どなたでもご自由に聴講いただけます。



南会津町あらかい健康キャンプ村管理棟「ひだまり庵」